

平成30年度



赤木小だより

平成30年4月20日 No.3 文責 校長 鈴木 久

《教育目標》

『豊かな心と相互的な学力を身につけた、たくましい児童の育成』

あ 明るくあいさつをする子ども
か 考えをもって学び合う子ども
ぎ 気持ちよく運動する子ども

教育理念、教育目標を踏まえ、「赤木小子ども育成スタンダード」に基づき、子どもの自己実現を図ります！

教育理念

本校は、昭和7年開校以来、「至誠」「質実」「優雅」の精神を受け継ぐ、今年で86年を迎える学校です。教育理念に「自立と共生」を掲げ、伝統ある赤木教育の実践に取り組んできました。

教育目標

教育目標は「豊かな心と総合的な学力を身につけた、たくましい児童の育成」です。「知」「徳」「体」の調和のとれた発達が遂げられるようにするとともに、子どもの可能性を最大限に引き出し、自己実現が図れるようにしていきたいと思ひます。



学級づくりは、3つの「あい」（支えあい・学びあい・高めあい）を基盤に、授業づくりは、アクティブ・ラーニングを積極的に推進していきます

赤木小子ども育成スタンダード

認知心理学

を踏まえた授業実践

- ・ 区別できる
- ・ イメージできる
- ・ 意味がわかる
- ・ 関連する世界が広がる

総合

探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む子ども

道徳

自己をみつめ、物事を多面的・多角的に考え、自分の生き方についての考えを深める子ども

子どもと目標を共有する取り組み

- ・ 単元テストの平均点85
- ・ 学力テストの偏差値60をめざす
- ・ アンダーアチーバー0
- ・ 読書量は年間100冊

英語

聞く・話す・読む・書くの4技能を身に付け、コミュニケーション能力を高める子ども

生活

活動や体験を通して、自分と身近な人々・社会や自然との関わりがもてる子ども

国語

実際の言語生活の場において、自分の意志で言葉を「話し、聞き、読み、書く」という言語活動を展開できる子ども

社会

社会的な事象や事実、歴史と積極的に関わり、みんなが幸せな社会を実現するための方法を創造的に考える子ども

アクティブ・ラーニングによる授業実践

- ・ 主体的な学び
- ・ 対話的学び
- ・ 協働的な学び
- ・ 深い学び
- ・ 問い続ける学び

算数

数学的に価値の高い、多様な見方・考え方をみんなで共有し、自分の生活や次の学習に生かす子ども

学級経営を基盤に

- ・ 助け合い
 - ・ 支え合い
 - ・ 学び合い
 - ・ 高め合う
- 子どもを育てる

実験・観察を十分体験し、知識や理解性を定着づけ、その理解を説明できる子ども

理科

自らを磨く教師集団

- ・ 教師の力以上に子どもは育たない
- ・ 個を補い、個に応じ、個を生かす
- ・ 目配り気配り、そして手配り
- ・ 全ては未来を拓く子どもたちのために・・・

音楽

音や楽譜を愛したり、歌ったりすることを楽しみ、友だちと関わる子ども

図工

創造力を発揮し、表現力やコミュニケーション能力を高める子ども

体育

運動を通して、体力や健康を高め、自己肯定感を高める子ども

家庭

衣食住に関する知識・技能や消費生活・環境に配慮した生活の仕方を実践し、身に付ける子ども

交通安全教室で家庭の交通安全推進委員委嘱状交付式と見守り隊との顔合わせ



6年生が中心となり企画した「1年生の入学を祝う会」で赤まる班への仲間入り



平成30年度 赤木小学校教職員 どうぞよろしくお願ひ致します。

校長 鈴木 久
 教頭 相樂 澄男
 教務主任 藤澤 由宗
 1年1組 皆川 久美 (橘小学校より)
 1年2組 佐藤和佳奈 (新規採用)
 2年1組 國井美代子
 2年2組 伊藤佳也子
 3年1組 伊藤 弘美 (鏡石第一小学校より)
 3年2組 渡部麻由子
 4年1組 伊藤 典子
 5年1組 成田 和邦
 5年2組 影山三由紀 (鬼生田小学校より)
 6年1組 大河原克則
 6年2組 宗像 恵子
 すみれ 橋内真知子
 たんぽぽ 熊田 直美

養護教諭 早川 照子
 主査 長尾久美江
 主任務員 宗像 信一 (高野小学校より)
 調理員 渡辺 容子
 調理員 伊藤 義典
 特別支援補助員 白岩真理子 (安積第二小学校より)
 特別支援補助員 熊谷 美幸 (大島小と兼務)
 学校司書 関根 美和
 パート調理員 伊藤 美幸
 学校カウンセラー 松尾 房恵
 外国人英語講師 ヘナレ・アクランギ
 待機調理員 市川 直子

